Google Mapsを用いた都市空間データベースの構築と共有方法に関する研究

福祉環境工学科 建築コース 佐藤誠治・小林祐司 都市建築計画研究室 0456003 阿部 哲也

背景

近年ブロードバンドの普及に伴い、簡単にコンピュターネットワークにつながることができ、様々なサービスが「いつでも、どこでも、何度でも、誰でも」利用可能となるユビキタス社会という言葉が注目され始めている。

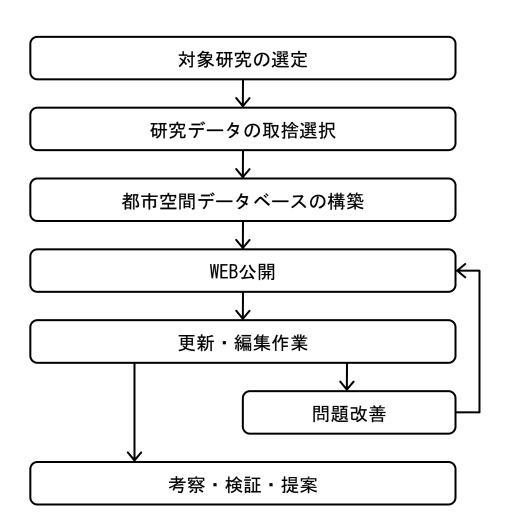
多くの大学でHPを立ち上げ、研究成果を外部に向けて発信しているが、画像一つにしてもその土地についての知識を持たない人にとってはその画像がどの地点からどの方向にむけて撮影されているものなのかわかりづらい。

目的

• 本研究ではGoogle Mapsを用いることによって、その土地に実際に訪れたことがないものであっても直感的に都市空間を把握することができるデータベースを構築し、構築したデータベースを誰でも利用することができるようにWEB上に公開することを目的とする。

• また構築するデータベースは利用者が専門的な知識を持たなくても容易に 操作することができ、将来に向けて継続的に更新ができるものとする。

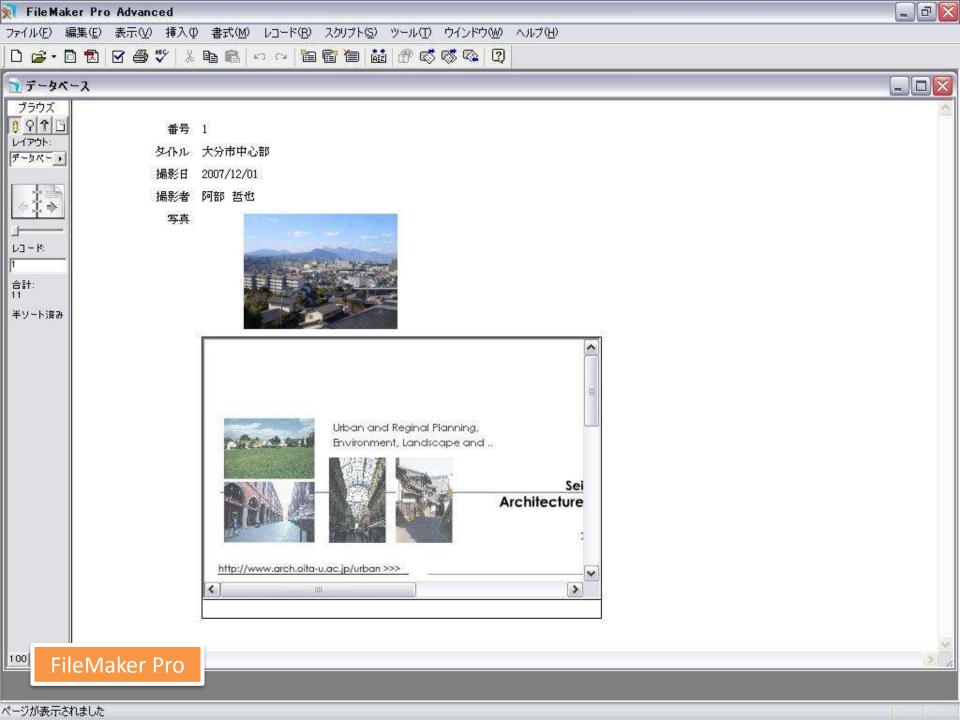
研究フロー



使用ソフトウェア

- FileMaker Pro 9 Advancedを使用してデータベースの構築を行う。
 FileMakerはデータベースソフトウェアで、データベースに関しての知識がなくてもデータベースの作成・編集を容易に行える。
- WEBビューアの機能を使用することによって、データベース内のデータとともにWEBページも表示することができる。
- インスタントWEB公開機能を使用してデータベースのWEB公開を行う。



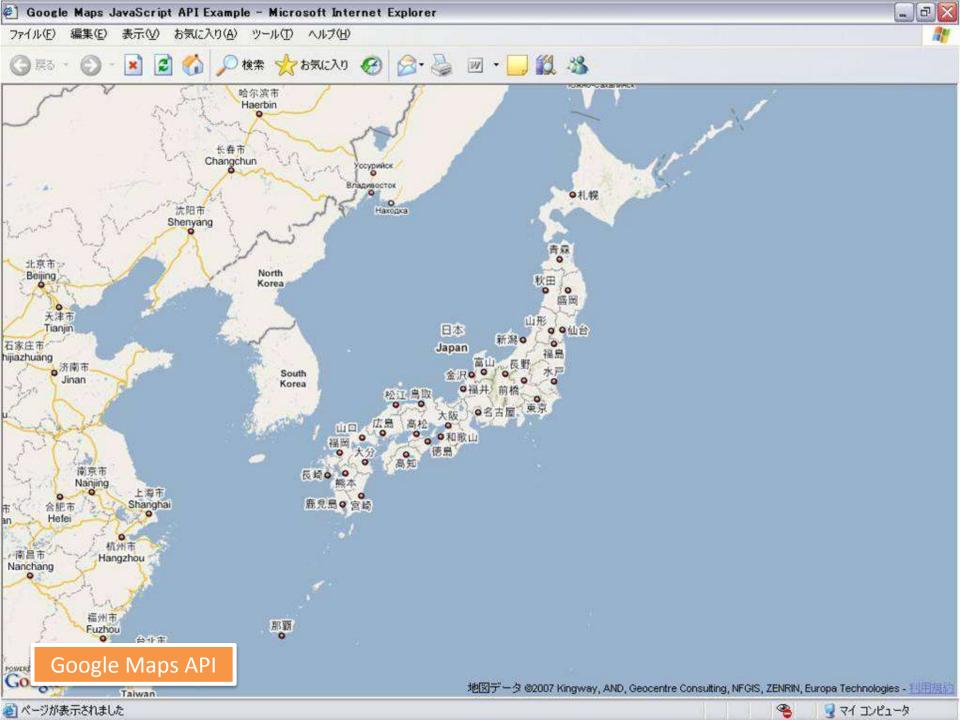


Google Maps ∠Google Maps API

• Google Mapsは米Google社が現在インターネット上で無償にて提供しているローカル検索サービスである。画面のサイズやコントロールの位置はあらかじめ決められており、自由に変更することはできない。

• Google Maps APIはGoogle Mapsを使用目的に合わせて自由にカスタマイズ することを可能とするプログラムである。Google Maps APIを使用すること によってWEBページにGoogle Mapsを載せることができる。





```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Strict//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-strict.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
<head>
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=utf-8"/>
<title>Sample</title>
<style type="text/css"><!--
html, body, #gmap {
margin:0;
padding:0;
width:100%;
height:100%;
html {
overflow:hidden;
--></style>
<script
src="http://maps.google.com/maps?file=api&v=2&key=ABQIAAAAasAJryKxWJnBFVJa4
87d9hTHGAxTVT7IRADYa-JdYz7xQ8IQZBSthgDZdggYpQHsmm6WYtHstQFfLA"
type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
//<![CDATA[
window.onload = function() {
map = new GMap2(document.getElementById("gmap"));
map.setCenter(new GLatLng(36, 137), 6);
//]]>
</script>
</head>
<body>
<div id="gmap"></div>
</body>
</html>
```

データベース作成

- データベース構築にあたり対象とする研究は
 - 1. 景観に関する研究
 - 2. CGに関する研究
 - 3. 防災に関する研究

を対象とし、それぞれの研究データを使用してデータベースを作成した。

景観データ





















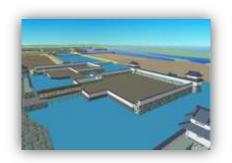


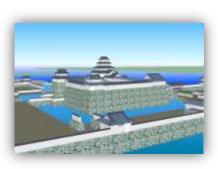


大分市府内

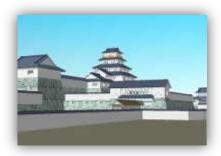
別府市内

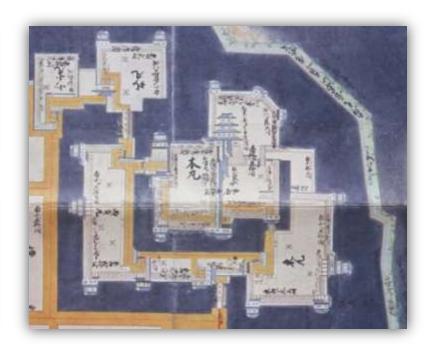
CGデータ







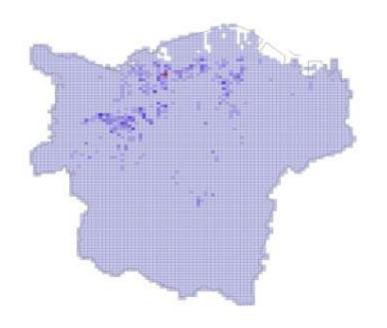




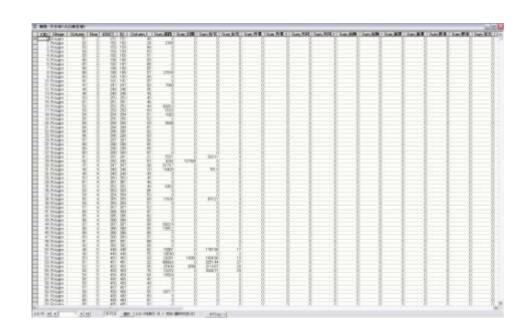
府内城復CG

慶長十年府内城之絵図

防災データ



250mメッシュ



メッシュデータ

改善点

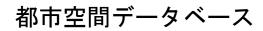
• Googleのマーカーは撮影地点だけを示すだけで、どの方向に向けて撮影されたものかが分かりづらい。

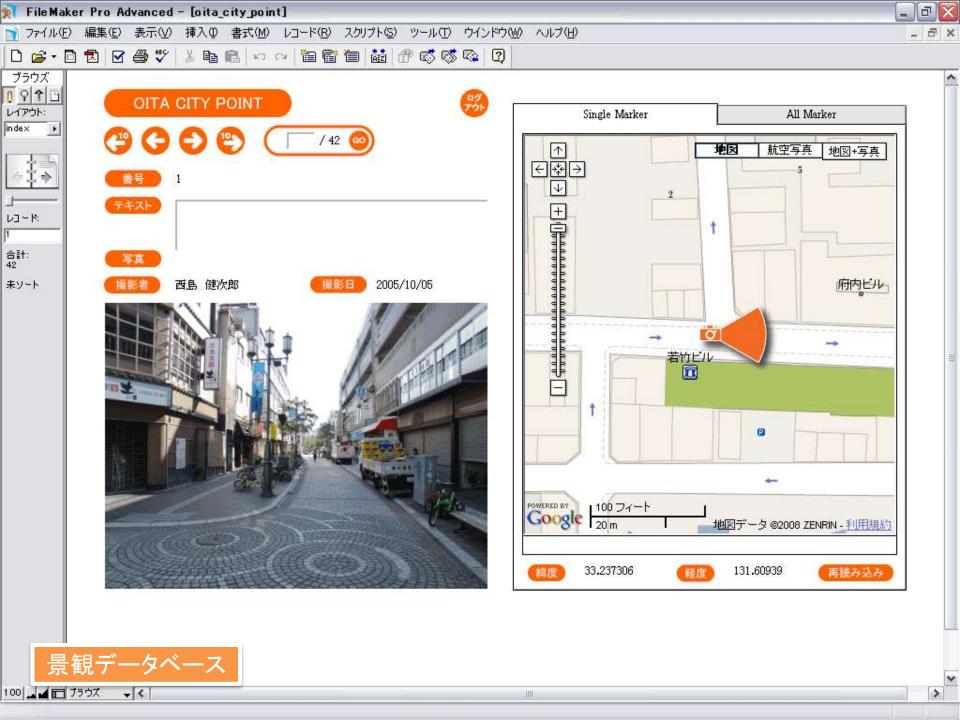
• マーカーを方向性を示したマーカーに変更し、どの地点からどの方向にむけて撮影されたものなのかを表すようにした。

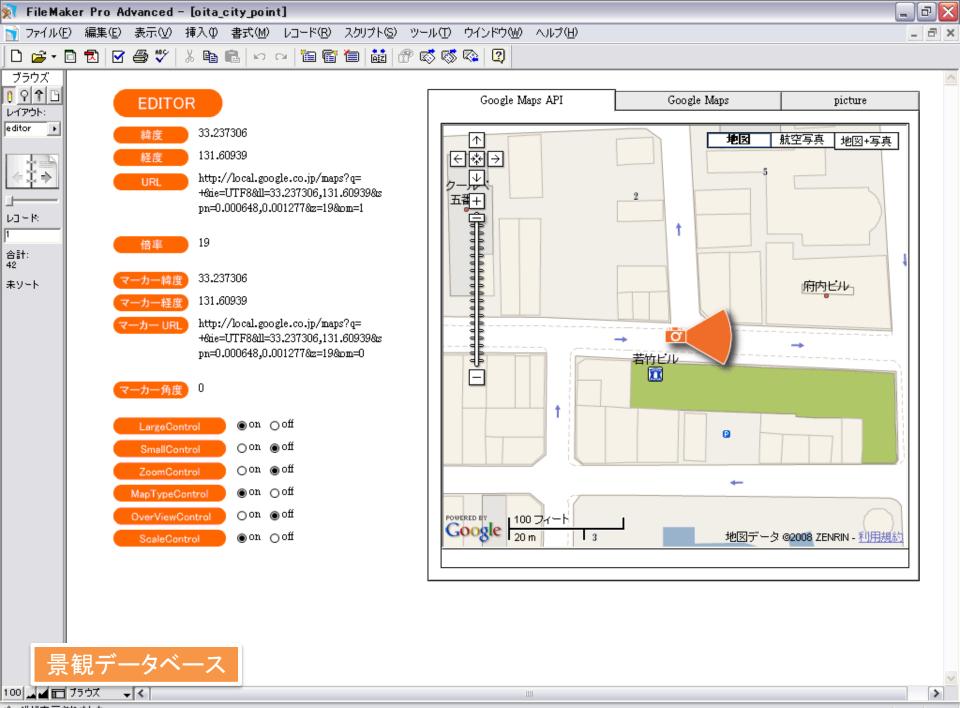


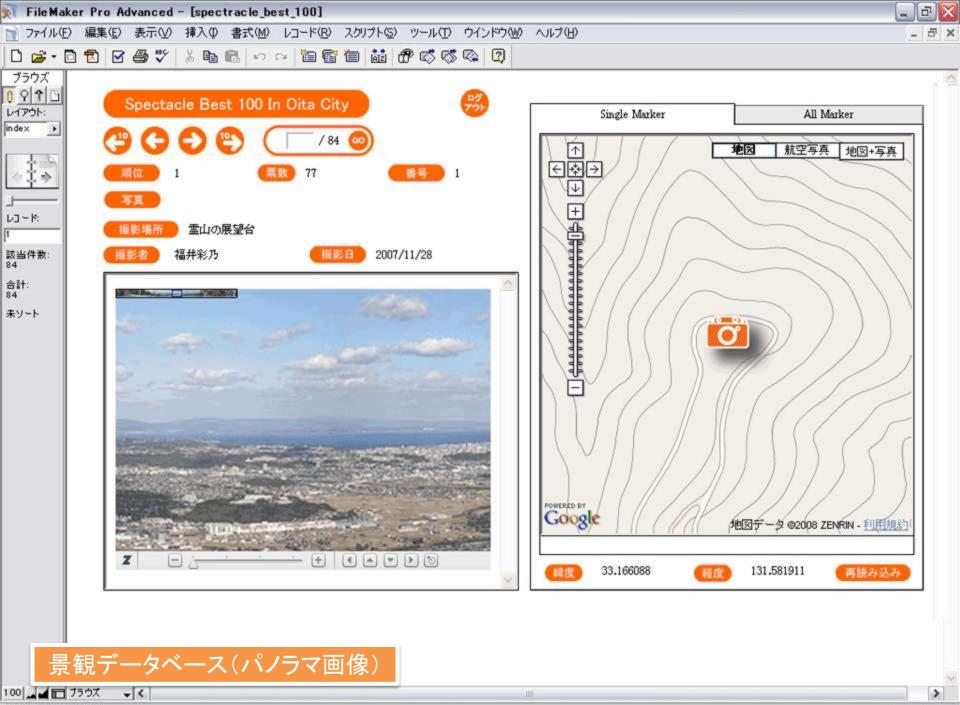








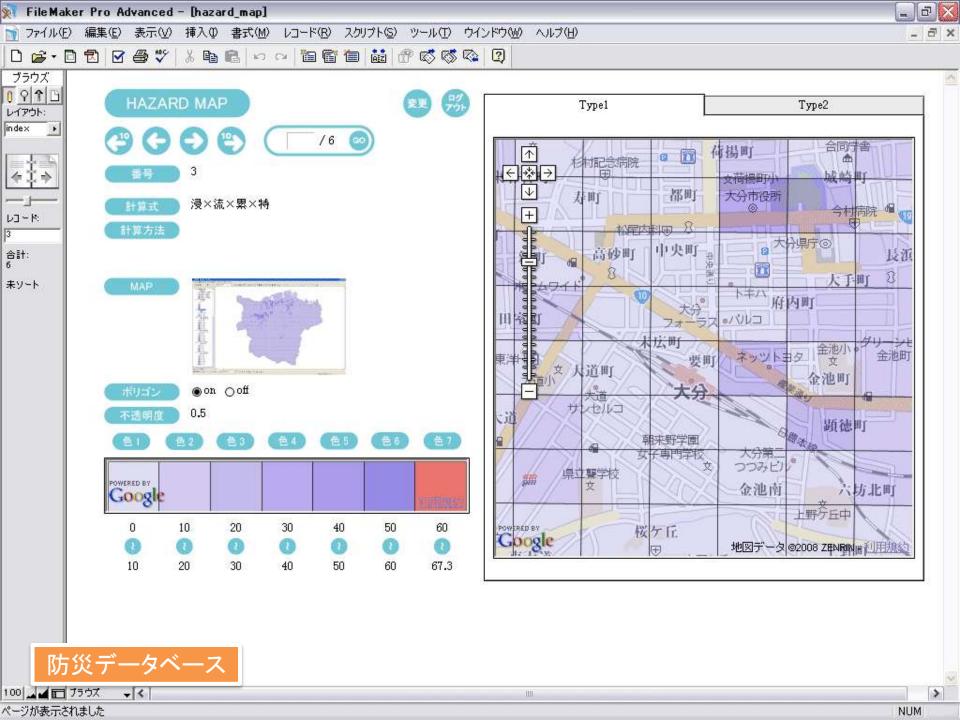


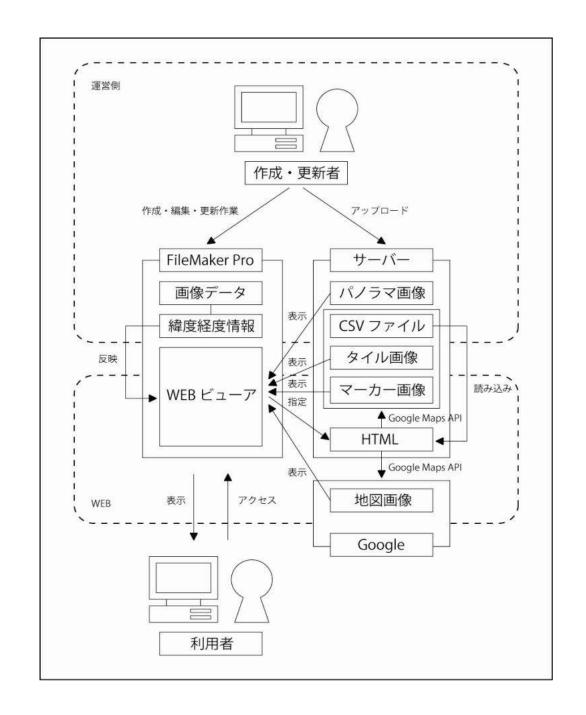


ページが表示されました



ページが表示されました





都市空間データベース

http://gis.arch.oita-u.ac.jp:591/fmi/iwp/cgi?-db=oita_city_point&-loadframes

総括

 本研究では、Google Mapsを使用してデータベースを作成することにより、 ネットに接続する環境さえあれば、いつでも、どこでも、誰でも都市に関 する情報を利用することができるプラットフォームを構築した。

• 今後、公衆無線LAN環境がさらに整備されれば、屋外にいながら都市に関する情報を取得する機会が増え、都市空間データベースが活用される場が増えると期待できる。